ASIAGAP
米（籾・玄米）

（有）穂海農耕

農　場　情　報

基本情報

代表者：　平井　雄志
所在地：**〒944-0105　新潟県上越市板倉区田屋104番地2**
構成員：役員３名、正社員16名、アルバイト２名
栽培面積：230 ha
設立年：平成17年

経営理念

・地域の担い手として農地を引継ぐこと
・日本の食料自給に貢献すること

農場からシンカする

農場の特徴

玄米販売を基本とする多品種栽培
極早生：ちほみのり
早生　：ゆきん子舞、つきあかり
中生　：コシヒカリ、にじのきらめき、
　　ほしじるし
晩生　：みずほの輝き、やまだわら、恋初めし
他試験品種等

ＧＡＰ認証

取得状況

種類：JGAP団体認証（H19）
　　ASIAGAP（H28）
継続年数：16年　更新：８回

きっかけ

　前社長が会社を作り始めた頃、農場には組織として、多くの社員みんなでできる行動規範や、農地の受皿として存続するための仕組みが必要と考えていた。取引先からＧＡＰの話を聞き、ルール作り、仕組み作りができると感じた。

継続理由

　ＧＡＰは自分たちが成長するために必要なもの、やるべきことだと思っている。第三者機関による審査は、適度な緊張感で外部に開かれており、独りよがりにならない。コストがかかっても会社の生命維持に需要なこと。

ＧＡＰの取組

労働安全

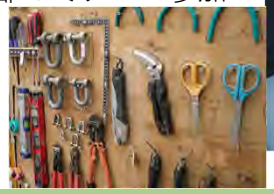
・整理整頓の徹底
・社内講習　シーズンが始まる前の栽培研修や安全講習

人材育成

・新入社員研修
・資格取得　資格取得にかかる費用はすべて会社が負担
・外部研修　社員の成長に合わせて外部セミナーへ参加

労務管理

・就業規則、賃金規程
・育児・介護休業規程
・4段階の職位と、キャリアパスの
　「見える化」



ＧＡＰの効果や改善（特に従業員の変化）

・従業員の育成「なぜ？」と考える力をつけることができる。ＧＡＰは望ましい状態を示しているが、やり方は自分たちで考える。
・情報が活用しやすく、情報コストが安い。　意思決定の早さにつながる。
・企業としての土台がしっかりしていると社会から評価される。GAPといえば「穂海」、取引における信頼確保。

問い合わせ先
TEL 0255-78-5710　FAX 0255-78-5720
https://houmi.jp/company/